

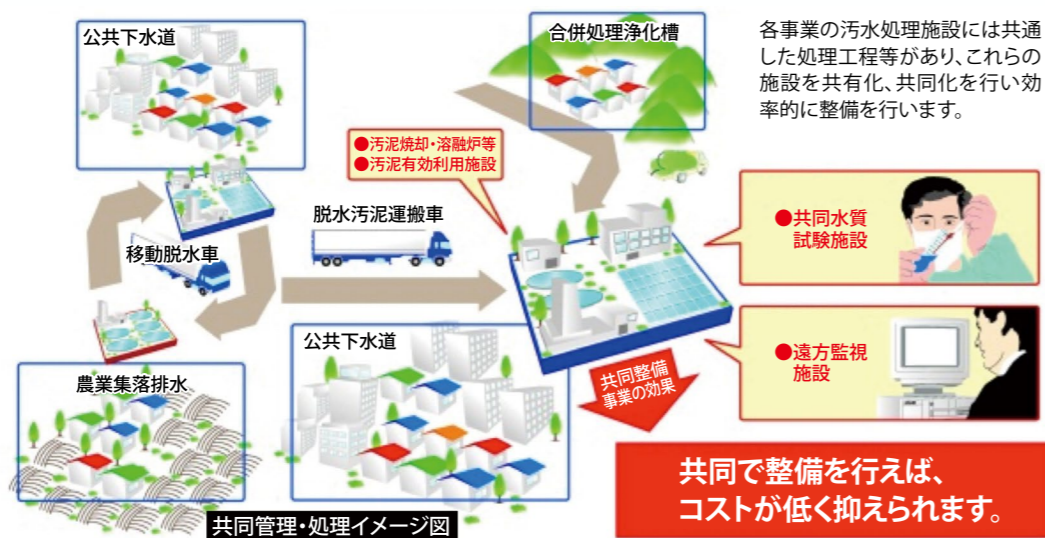
汚水処理施設の効率的な整備が美ら島を守る!

既存の汚水処理施設を利用し、下水の処理を行うことは、効率的な管理やコスト削減を実現します。そのための取り組みがMICS(汚水処理施設共同整備事業)です。

~MICS(汚水処理施設共同整備事業)とは~

公共下水道事業、農業集落排水事業、合併浄化槽事業などの汚水処理施設には共通する処理行程があり、共同で利用の方が効率的になる場合があります。このような場合、一定の採択条件に該当すれば共同で利用可能な施設を下水道事業により整備できる制度として、「汚水処理施設共同整備事業(MICS)」があります。県内では、初めて石垣市が平成26年度からMICS事業に着手しています。

石垣市では、し尿処理場の老朽化が進んでおり、平成33年に構造物の耐用年数である50年を迎える一方で、汲み取りし尿や浄化槽汚泥は減少していくため、し尿処理場に大規模な改築費用を投じることは、不経済になることから、MICS事業の着手に至りました。具体的な取り組みとして、下水道処理施設において、し尿、浄化槽汚泥を合わせて処理する事業を進めます。



Q1
し尿処理施設と下水道処理施設の違いは?

A1
し尿処理施設は、各家庭などからバキュームカー等で運ばれる、し尿や浄化槽汚泥を処理します。下水道処理施設は、各家庭などから下水道管より流れてくる生活排水などの汚水を処理します。

Q2
MICSってどんな利点があるの?

A2
施設の共同利用により、管理業務が効率化されると共に、建設費や維持管理費の削減が実現するため、コストを低く抑えることができます。

「下水道の日」のイベントに参加しよう!

~忘れない暮らしの下に 下水道~

毎年9月10日は「下水道の日」です。県では、右記のとおり式典やパネル展を実施します。お気軽にお立ち寄り下さい!

下水道の日式典

時間：9月9日(水)午後4時~(予定)
場所：パレット久茂地前広場
★式典の前後に花の苗や下水道関連グッズの配布
★アトラクションの実施

パネル展

時間：9月7日(月)~9月11日(金)
場所：県庁1階県民ホール

お待ちしております!



昨年度の再生水を利用した打ち水の様子

知ってる?

沖縄県下水道課
イメージキャラクター
みじかり君



下水道の新しい取り組み!

私たちが豊かな生活を維持していくためには、自然環境との調和を図ることが求められています。そのためにも生活排水などの汚水を集め、きれいにして川や海へ戻すシステムが必要であり、下水道はその役割を担っています。

また、近年、下水道事業では、この様な基本的役割以外での新たな取り組みが実施されています。

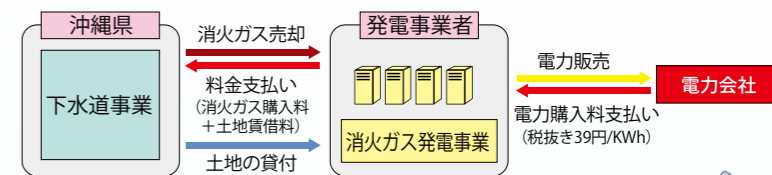
下水道は、リサイクルもしています!

汚水の処理過程で発生する消化ガスは、燃料として利用可能であることから、沖縄県の下水道処理場内においては、発電、燃焼脱臭、消化タンクの加熱の用途に利用されています。消化ガス利用率の更なる向上を目的とした取り組みの一例として、沖縄県と民間企業の協力によるFIT*を活用した消化ガス発電を紹介します。

*FIT(Feed-in Tariff)とは、再生可能エネルギー固定価格買取制度のことで、再生可能エネルギーで発電された電気を、その地域の電力会社が、一定価格で買い取る事を国が約束するもの。

~沖縄県と民間企業の協力によるFITを活用した消化ガス発電とは~

消化ガスと下水道処理場の土地の一部を、県が民間事業者へ有料で提供し、民間事業者が発電事業を実施するもので、現在発電事業者との調整を進めています。



環境にも優しくて、管理費用もまかなえる! いっぱーじょうとうやいびーん!



Q1
いつからどこで実施されるの?

A1
宜野湾浄化センターでは平成28年10月1日から、具志川浄化センターでは平成28年4月1日から消化ガス発電が実施される予定です。



宜野湾浄化センター



具志川浄化センター

Q2
この取り組みで、どんな効果があるの?

A2
消化ガスは、メタンを主な成分とする温室効果ガスであるため、大気に放出しないことで、地球温暖化対策に寄与します。また、化石燃料の代替エネルギーとして発電に用いられることから、二酸化炭素の排出量を削減することができます。他に、太陽光発電と比較して【表2】のとおり利点があります。

【表1】	宜野湾浄化センター	具志川浄化センター
年間推定発電量※	約640万kWh	約190万kWh
(一般家庭に換算した場合)	約1,800世帯分	約540世帯分
年間CO ₂ 削減量	約4,400トン	約1,300トン

※消化ガス発電で年間どれくらいの発電量が見込めるかの値。

【表2】	太陽光発電	消化ガス発電
時間帯	昼間のみ	24時間発電可能
電圧・周波数	不安定	安定
発電量の調整力	調整不可能 (天候に左右されるため)	ある程度調整可能 (ガスタンクがあるため)

Q3
沖縄県と民間企業が協力することで、どんな利点があるの?

A3
沖縄県は発電設備の建設費及び維持管理費を負担することがありません。また、民間企業を発電事業者とすることで、事業の早期着手が見込めます。

お問い合わせ

県下水道課 電話:098-866-2248 FAX:098-866-2394

